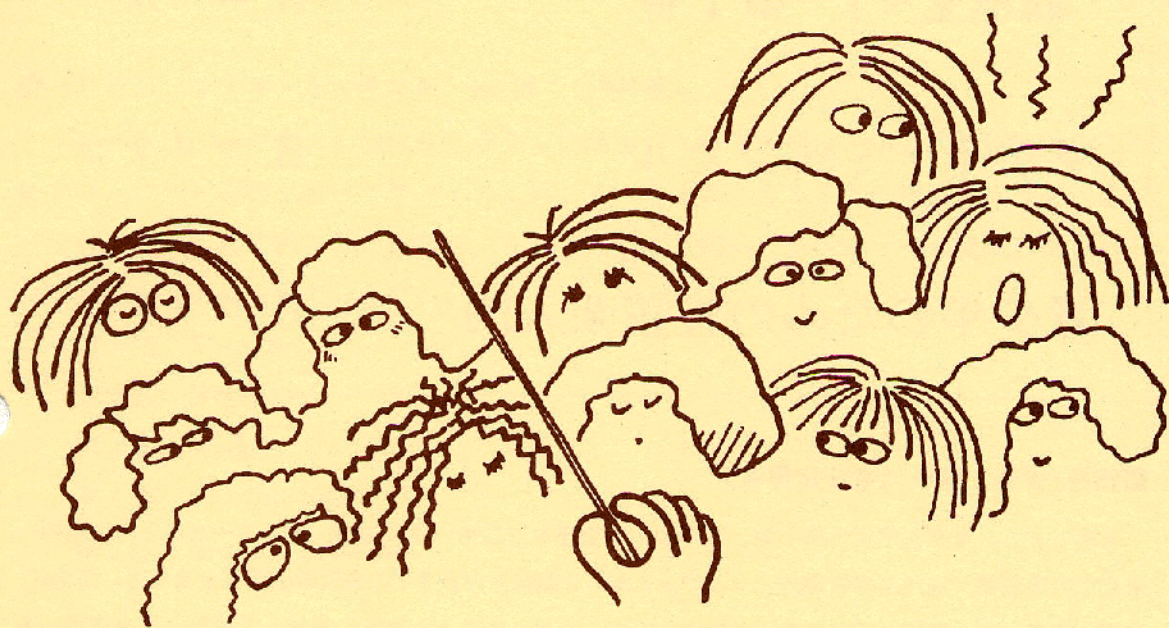


鎌倉交響楽団

'94ニューイヤーコンサート

指揮 古谷誠一

司会・ナレーション 永井邦子



日時／1月30日(日) 午後2時開演

会場／鎌倉芸術館

後援／鎌倉市教育委員会

プログラム

交響曲第104番 「ロンドン」 J. ハイドン

休憩

インスタントコンダクターのコーナー 曲目「？」

「威風堂々」 第1番 E. エルガー

マチネ・ミュージカル B. ブリテン

青少年のための管弦楽入門 B. ブリテン

■指揮/古谷 誠一（常任指揮者）

東京生まれ。東京大学文学部卒業。在学中から指揮を三石精一氏に師事。東大オーケストラの指揮、東京室内歌劇場、長門美保歌劇団、ステファノオペラ劇場等の数多くの公演の副指揮を務める。卒業後、桐朋学園音大で、指揮を秋山和慶、堤俊作各氏に、作曲、ピアノを故矢代秋雄、三善晃、末吉保雄の各氏に師事。1978年にZ. コシユラー氏の指導を受け、1979年にはチェリビダッケ氏の講習会に参加。

モーツァルト「魔笛」公演を指揮して指揮活動を始め、以後数多くのオペラをはじめ、長門美保歌劇団での「チャルダッシュの女王」や日本オペレッタ協会での「マリッツァ伯爵夫人」等、日本で演奏されることの少なかったオペレッタの指揮や、名古屋オペラ協会での入野義郎「綾の鼓」等、現代日本オペラも数多く手がけている。また、ナゴヤシティ管弦楽団常任指揮者として、ベートーベン「第9交響曲」、モーツァルト「レクイエム」、ヘンデル「メサイア」をはじめ数多くの公演を指揮。名古屋芸術大学助教授として、オーケストラ、オペラの指揮にもあたっている。

—— 曲 目 紹 介 ——

■ハイドン 交響曲第104番「ロンドン」(1795年)

ハイドンの最後の交響曲として、ハイドンの2回目のロンドン滞在中に作曲された交響曲です。この「ロンドン」という名前は、19世紀以後に付けられたもので、単に作曲された場所あるいは作品の依頼者を記念する以上の意味はもっていません。今回の演奏会では、イギリスで作曲されたということで取り上げてみました。初演2日後の新聞評には、「この交響曲は、そのあらゆる部分の充実、豊かさ、及び荘厳さゆえにハイドンの他の作品すべてを凌駕する」ということが掲載されています。この交響曲の持つこのような面をお楽しみ下さい。

■エルガー 行進曲「威風堂々」第1番(1901年)

改めて説明する必要がないほど我々になじみ深い行進曲です。夏のプロムナードコンサート最後に会場中の観衆がオーケストラとともに歌う姿をご覧になった方もいらっしゃるかと思います。この曲は5曲ある「威風堂々」の中でももっとも有名な曲です。

■ブリテン マチネ・ミュージカル op.24(1941年)

ブリテンは、イギリスの現代を代表する作曲家です。この曲は、第2次世界大戦前の不穏なヨーロッパ情勢を避けてアメリカに渡っている間に、もう一つの組曲「ソワレ・ミュージカル」とともに作曲された曲です。またこの曲の主題は、ロッシニーの曲から取られ、次の5曲から構成されています。

第1曲 March

第2曲 Nocturne

第3曲 Waltz

第4曲 Pantomime

第5曲 Moto Perpetuo

■ブリテン 青少年のための管弦楽入門 op.34(1946年)

ブリテンのイギリス帰国後、イギリス政府の依頼で「オーケストラの楽器達」という映画のために作曲された曲です。この曲は、イギリスの作曲家パーセル(1659年—1695年)の主題とブリテン自身の作曲した主題とを組み合わせることで、オーケストラの各楽器を紹介するための曲です。各楽器群のアンサンブルを楽しめるパーセルの主題と、個々の楽器の特性・音色を楽しめる変奏部と、全楽器が順番に演奏するフーガの3部分から構成されています。

(今城信彦)

人へ。社会へ。地球へ。
TOYOTA

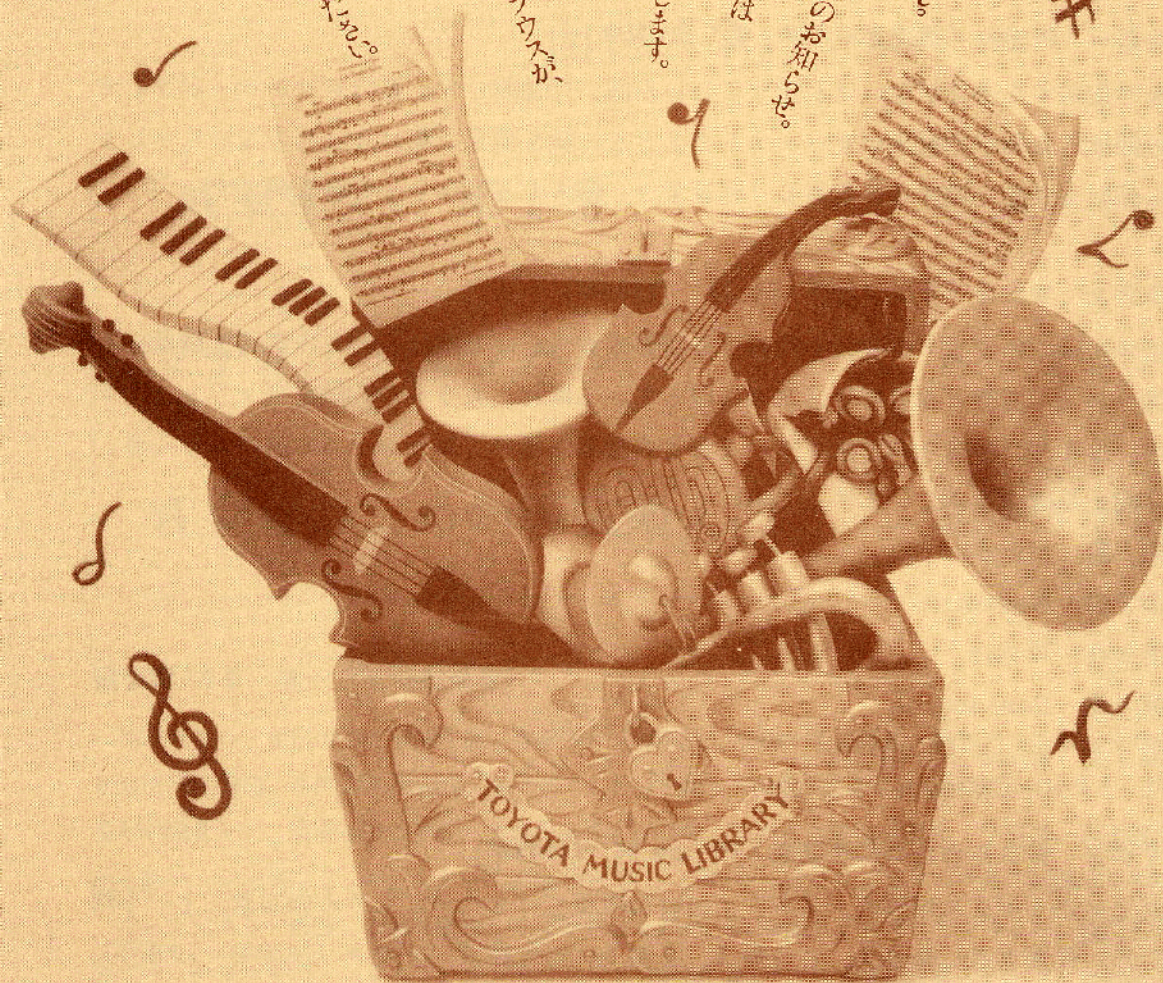
モーツァルト出張中。

オーケストラ用の楽譜、無料でお貸しいたします。

曲目はクラシックを中心に100曲以上。

トヨタミュージックライブラリーでは

あなただけのオリジナルの楽譜を無料で貸し出しています。



オーケストラ用楽譜を無料でお貸しいたします。

トヨタ ミュージック ライブラリー

お問い合わせはトヨタ自動車物販部 ☎03(3817)9134まで